

1. 2020年度事務部の体制について

事務部は事務長1名、企画総務室14名、医事室12名、情報システム室5名（医事室兼務4名）体制でスタートした。主な動きとして2021年1月1日付で医事室長が熊本-みすみ病院間の人事異動で交代した。2020年10月には支部が運営していたレストラン、サービスセンター事業が病院に移管し、それに伴い支部スタッフ3名が病院に転籍した。所属は企画総務室。

2. 2020年度病院の主な取り組み

2020年度は病院運営のキーワードを「着実」とし、「オールみすみで生産性を向上させよう」を基本運営方針に、ITと各種ツール活用による業務効率化、収益の安定化、病院広報の強化、ESとCSの両立の四点を重点目標に掲げ取り組んだ1年であった。

(1) ITと各種ツール活用による業務効率化

- ・旧松合医院の外来診療支援について、第1・3火曜日の月2回、医師・看護師・事務で訪問していたが、2021年3月よりオンライン診療をスタートした。看護師と事務のみ松合医院に出向き、医師はみすみ病院から診療を行うことにより医師の負担軽減につながった。
- ・RPAを導入し、現在は病棟毎病床利用率の自動アップデート、読影結果が届いたときの自動通知、スキャンされた保険証等画像データの電子カルテへの自動登録に活用している。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止を機に地域の医療機関とのオンラインカンファレンス、入院患者と家族とのオンライン面会を積極的に行った。また9月開催の当院主催の済生会九州ブロック会議において、オンライン会議を初めて開催した。

(2) 収益の安定化

- ・収益については、新型コロナウイルス感染の影響が大きく、入院、外来、介護部門は対前年度を下回った。重要指標として位置づけている病床利用率は見直しを行った入退院運用ルールを医局会、幹部・リーダー研修会で周知徹底したこともあり、コロナ病床を除けば87.1%と昨年度実績88.7%を僅かに下回る程度だった。
- ・新型コロナウイルス感染関連の入院病床確保事業補助金、入院医療提供体制支援交付金、入院受入医療関係緊急支援事業補助金、発熱外来診療体制確保支援補助金、緊急包括支援事業補助金、入院医療機関設備整備事業補助金、患者受入のための救急・周産期・小児医療体制確保事業補助金支給により収益が対前年度を上回った。

(3) 新型コロナウイルス感染に関する主な対応

- ・4月、帰国者・接触者外来をプレハブで設置。
- ・4月、1F地域包括ケア病床12床を新型コロナウイルス専用病床に転換。7月30日、入院患者1例目受入。
- ・9月、救急外来処置室において、疑い患者と分けるために改修工事を行い専用の処置室を設置。
- ・11月、発熱患者からの電話による受診案内業務をスタート。3月末まで。

・12月、PCR検査機器（LAMP法）を導入。

(4) 人事制度の見直し

人材確保、離職防止のために、また同一労働同一賃金対応として、旧嘱託職員、旧契約職員の処遇改善と職員区分名称の変更を行った。処遇改善については、旧嘱託職員の賞与額を見直し、かつ賞与時に人事考課を取り入れた。旧契約職員は冬の一時金を見直した。職員区分名称の変更については、嘱託職員→一般正職員、契約職員→準正職員とした。

(5) 無料低額診療事業

2020年度無低実施率は無低対象者数が増加、延患者数が減少したため過去最高の9.21%となった。2019年度は7.81%。新たな取り組みとして2021年1月より新型コロナウイルスの影響により収入の減少や失業等の生活困窮者に対し対象を拡大したが、2020年度中の利用実績はゼロであった。

(6) 収益事業の病院への移管

2020年10月より支部が運営していたレストラン事業、テレビカード販売等サービスセンター事業が病院に移管された。そのタイミングで病室内の床頭台、テレビを更新した。冷蔵庫付、テレビはBS視聴可能なタイプ。

(7) 院内外イベントの中止

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、院内イベントにおいては新入職員歓迎会、病院忘年会、健康フェスタ、開院記念清掃活動、院外イベントにおいてはみなと祭り、天草パールラインマラソン大会が全て中止となった。出前健康講座は5件（2019年度は30件）と減少した。

3. 各種監査対応

実施日	内容	実施者
4月14日	年度業務監査	支部監事
4月24日	年度会計監査	支部監事
9月15日	労務管理に関する調査	熊本労働基準監督署
10月28日 ～30日	会計に関する標準往査	トーマツ監査法人
12月4日	上期会計監査	支部監事

4. 2020年度経営分析

2020年度経営指標は次ページの通りである。サービス活動収益については、空床補償等新型コロナウイルス感染関連の補助金収入が影響し、対前年比4.6%増加した。本業である入院・外来・介護・健診事業収益は7.8%減少した。ただ、4事業の中で健診事業のみ受診者増により収益は4.9%増加した。

サービス活動費用については0.7%減少。特に医薬品費が外来収益の減少、ジェネリック医薬品への移行により9.1%減少した。人件費は定期昇給、新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金の職員への支給等により3.9%増加した。人件費率は56.4%。

それらの結果、経常利益率は9.7%となり、対前年比4.8ポイント増加した。

経営指標

※2019年度より退職共済掛金を事業・拠点区分間繰入金費用から人件費に変更

項目	区分	計算式	単位	2016	2017	2018	2019	2020
病床数	許可数		床	140	128	128	128	128
	実働数	年間実働病床延数/365	床	128	128	128	128	128
一日平均患者数	入院	年間入院患者延数/365	人	117.5	119.9	119.3	117.2	105.7
	外来	年間外来患者延数/年間診療日数	人	164.8	163.1	160.7	156.4	144.1
	介護	年間介護患者数/365	人	15.9	22.5	25.3	29.5	27.8
	外来対入院比率(暦年)	一日平均外来患者数/入院患者数		1.4	1.4	1.3	1.3	1.4
財務比率	平均職員数	毎月末職員数合計/12ヵ月	人	237.4	239.4	243.9	242.8	248.3
	平均医師数	毎月末医師数合計/12ヵ月	人	11.0	11.5	11.1	11.0	11.0
	流動比率	流動資産/流動負債	%	487.3%	625.4%	532.1%	602.4%	706.5%
	自己資本率	自己資本/総資本	%	90.1%	91.7%	92.0%	93.3%	93.5%
	負債比率	他人資本/自己資本	%	11.0%	9.0%	8.7%	7.1%	7.0%
	固定比率	固定資産/自己資本	%	57.2%	52.7%	62.4%	64.2%	57.8%
	固定長期適合率	固定資産/(自己資本+固定負債)	%	57.2%	52.7%	62.4%	64.2%	57.8%
	総資本回転率	医業収益/総資本	回	0.85	0.82	0.79	0.76	0.72
借入金比率	借入金平均残高/医業収益	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
収支比率	人件費率(含む委託人件費)	(人件費+委託人件費)/医業収益	%	56.6%	55.9%	56.3%	60.9%	60.5%
	材料費率(医薬品・診療材料)	材料費/医業収益	%	23.5%	21.6%	19.9%	19.0%	16.5%
	経費率	経費/医業収益	%	5.8%	6.0%	6.1%	7.3%	6.3%
	賃借料率〔再掲〕	機器賃借料/医業収益	%	0.4%	0.4%	0.3%	0.4%	0.3%
	委託費率	委託費/医業収益	%	3.2%	7.1%	7.1%	7.1%	7.0%
	減価償却費率	減価償却費/医業収益	%	5.5%	5.5%	5.5%	5.0%	5.6%
	医業収支比率	医業費用/医業収益	%	95.2%	91.6%	90.5%	95.1%	90.3%
	金融費用比率	支払い利息/医業収益	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	医業利益率	医業利益/医業収益	%	4.8%	8.4%	9.5%	4.9%	9.7%
	経常利益率	経常利益/医業収益	%	5.0%	8.8%	9.5%	5.0%	9.9%
成長率	当期医業収益/前期医業収益	%	95.7%	100.9%	100.5%	98.3%	104.6%	
生産性指標 労働効率	職員一人当り医業収益	医業収益/年間平均職員数	千円	11,241	11,243	11,112	10,972	11,219
	職員一人当り経常利益	経常利益/年間平均職員数	千円	561	988	1,054	552	1,109
	医師一人当り医業収益	医業収益/年間平均医師数	千円	230,490	234,059	244,597	242,180	253,244
	100床あたり職員数	年間平均職員数/年間実働病床数	人	182.6	187.0	190.5	189.7	194.0
	入院患者100人当たり職員数	年間平均職員数/年間平均入院患者数	人	202.1	199.7	204.4	207.1	234.9
	外来患者100人当たり職員数	年間平均職員数/年間平均外来患者数	人	144.1	146.8	151.8	155.2	172.3
	介護患者100人当たり職員数	年間平均職員数/年間平均介護患者数	人	1,497.6	1,062.5	962.5	824.2	893.6
	入院患者一人一日当たり収益(一般病棟)	入院収入/入院患者延数	円	35,752	36,290	37,638	35,275	35,788
	入院患者一人一日当たり収益(地域包括ケア病床)	入院収入/入院患者延数	円	32,381	32,255	34,119	34,750	38,082
	入院患者一人一日当たり収益(回復期病棟)	入院収入/入院患者延数	円	37,600	37,874	38,449	38,777	39,628
	外来患者一人一日当たり収益	外来収入/外来患者延数	円	22,900	21,996	21,405	21,093	20,640
	介護患者一人一日当たり収益	介護収入/介護患者延数	円	8,572	9,246	8,950	9,068	8,136
	労働生産性	(医業収益-人件費以外全)/年間平均職員数	千円	6,479	6,781	6,804	6,763	7,411
労働分配率	人件費/(医業収益-人件費以外全)	%	91.6%	86.0%	89.7%	92.1%	85.3%	
生産性指標 病床効率 (年間)	一床当たり医業収益	医業収益/実働病床数	千円	20,848	21,029	21,173	20,812	21,763
	一床当たり利益剰余金額	利益剰余金/実働病床数	千円	19,804	20,945	18,364	19,438	21,805
	一床当たり固定資産額	固定資産/実働病床数	千円	12,669	12,410	15,433	16,456	16,265
	病床利用率(一般病棟)	年間入院患者延数/年間実働病床数	%	86.1%	87.5%	89.2%	84.9%	83.7%
	病床利用率(回復期病棟)	年間入院患者延数/年間実働病床数	%	92.6%	93.9%	92.2%	95.2%	90.5%
	病床利用率(地域包括ケア病床)	年間入院患者延数/年間実働病床数	%	91.2%	90.7%	89.4%	86.5%	66.9%
	平均在院日数(一般病棟)	年間入院患者延数/(入院+退院)/2	日	11.3	12.0	12.6	12.6	13.6
	平均在院日数(回復期病棟)	年間入院患者延数/(入院+退院)/2	日	54.6	54.5	55.0	60.7	57.3
	平均在院日数(地域包括ケア病床)	年間入院患者延数/(入院+退院)/2	日	17.6	17.9	17.3	17.5	18.5
	病床回転率(一月当り 一般病棟)	365/12/年間平均在院日数	回	2.7	2.5	2.4	2.4	2.2
病床回転率(一月当り 回復期病棟)	365/12/年間平均在院日数	回	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	
病床回転率(一月当り 地域包括ケア病床)	365/12/年間平均在院日数	回	1.7	1.7	1.8	1.7	1.6	

※2014(5/1～)亜急性期病床(26床)→地域包括ケア病床(30床) ※2015(4/1～)地域包括ケア病床(40床)(～1/14 45床)(1/15～33床)
 ※2016(6/1～)地域包括ケア病床(45床) ※2015(4/1～)介護予防 訪問リハビリ計上 ※2016(6/1～)通所リハビリ開設